

施策評価管理シート

2022(令和4)年6月作成

施策体系	政策	4	豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち	担当部局(室)名	部局長名
	基本施策	2	生涯学習・生涯スポーツの推進		
	施策	2	生涯スポーツ		

1. 施策の基本方針(目指す将来像)



- 市民の誰もが、生涯を通して自主的にライフスタイルに応じたスポーツ・レクリエーション活動に親しみ、健康で、はつらつとした暮らしを営むことができる環境をつくるため、スポーツ関係団体や地域との連携を密にし、生涯スポーツ社会の実現に向けて取り組みます。
- 市民が気軽にスポーツ・レクリエーション活動に取り組むことができるよう、ニュースポーツの普及やイベントの開催、スポーツ・レクリエーション施設の整備について計画的に取り組めます。

2. 令和3年度の実施内容及びその成果



- ・名張中央公園に点在するトイレについて、新型コロナウイルス感染症対策として、国の財源を活用し、和式便器から洋式便器への改修を行いました(令和2年度より繰越実施)。
- ・マツヤマSSKアリーナ(名張市総合体育館)について、避難所として感染症の疑いがある避難者の受入にも対応するため、マツヤマSSKアリーナ(名張市総合体育館)及び名張市勤労者福祉会館の一体的な活用を可能とするよう館内屋上部分の防水改修等の整備を行いました(令和2年度より繰越実施)。
- ・赤目地域において、総合型地域スポーツクラブの創設の機運が醸成したことから、地域づくり組織と連携しながら、令和3年11月に、あかめ総合スポーツクラブ設立準備委員会の創設を支援しました。
- ・一部利用休止をしている市民テニスコートに対する利用ニーズは極めて高いことから、施設改修の実現に向けて、国及び県の財源確保をより有利な内容となるよう、関係部署との調整を行いました。
- ・オリンピック・パラリンピック関連事業に関して、令和3年4月8日に、オリンピック聖火リレーを開催し、赤目四十八滝の不動滝から赤目キャンプ場までの約1.6キロメートルを、11人の聖火ランナーが走り抜けました。また、令和3年8月14日にはパラリンピック聖火フェスティバルを開催し、小波田の火縄、愛宕の火祭り、伊賀一ノ井松明調進など、名張にゆかりのある火や、4つの障害者施設が採火した火を、1つに集火し、「地域共生社会創造の火」と命名し、三重県の出立式へ送りました。

3. 施策指標(目標)の達成状況



施策指標(目標)の内容(単位)		基準値(H29)	2018(H30)	2019(R1)	2020(R2)	2021(R3)	2022(R4)	進捗率
週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合(%)	目標	-	-	-	-	-	46.0	
	成果	43.8	39.1	37.8	40.7	41.5		0.0%
市民1人あたりの年間体育施設利用回数(回)	目標	-	-	-	-	-	6.0	
	成果	4.8	4.6	4.6	3.6	3.8		0.0%
総合型地域スポーツクラブの認定団体数(団体)	目標	-	-	-	-	-	7	
	成果	4	4	5	5	5		33.3%

4. 成果や施策指標の状況を踏まえた課題や現状の分析



- ・コロナ禍のなか、市民1人あたりの年間体育施設利用回数とともに、週に1回以上スポーツに親しんでいる市民の割合は増加しています。新しい生活様式の中で、利用者等全ての関係者が、安全安心にスポーツ活動及びスポーツイベントを開催できるよう、取り組む必要があります。
- ・9面ある市民テニスコートのうち、令和2年2月から3面の砂入り人口芝のテニスコートを、令和2年12月より2面の砂入り人口芝のテニスコートを利用中止としています。利用が可能な4面のハードコートも亀裂等が多い状態であるため、テニスコート全面の改修に向けた検討が必要です。ついでに、財源確保のため、国の交付金や市債などを活用し、早急に必要改修を行う必要があります。
- ・2021年の三重とこわか国体(開催中止)後においても、はなの里スタジアム(名張市民ホッケー場)を有効に活用し、「ホッケーのまちなばり」の推進を図るとともに、市内で開催を予定していた種目に対しても、市民の機運の維持及び向上を図る必要があります。

5. 分析結果を踏まえた施策の実施内容(令和4年度以降)



- ・新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、新しい生活様式の中で、利用者等全ての関係者が、安心安全かつ継続してスポーツ活動が可能となるよう、またスポーツイベントが開催できるよう、体育施設の維持管理に取り組みます。
- ・名張市体育施設において、国等の財源確保した中での整備(市民テニスコート、市総合体育館、市民陸上競技場等)に取り組みます。
- ・令和3年11月に設立しました、あかめ総合スポーツクラブ設立準備委員会について、令和6年度から、持続可能なクラブ運営が可能となるよう、令和4年度及び令和5年度の2か年度で、スポーツ振興くじの助成を受けながら、財政的な支援及び助言等により、クラブ創設の支援を行います。更には、新たな総合型地域スポーツクラブの創設に繋げていくため、名張市地域づくり代表者会議等を通じた啓発を行うことで、市内の15の地域の実情に応じたクラブ創設の機運向上を図ります。
- ・2021年の三重とこわか国体(開催中止)後においても、「ホッケーのまちなばり」の推進を図るため、三重県からの助成を受け、関係機関と連携し、大会等を開催する中で、必要な施設整備(更衣室新設等)を行います。また、その他の種目についても、三重県からの助成を受け、関係機関と連携し、大会等を開催する中で、必要な施設整備(弓道場等)を行い、市民の機運向上に取り組みます。

施策を構成する主な事務事業

*R3決算額が事業費1,000千円以上の事務事業を掲載しています（施設等維持管理、内部管理事務の事業を除きます）。

*R4予算は、R4.4.1時点での金額を記載しています。（R3からの繰越額含む。）

*R4予算のみ金額が記載されている事務事業（新規事業）は、R4の事業内容（計画）を記載しています。

単位：千円

会計	事務事業名	部局名	室名	令和3年度内容	R3決算額 (見込)	うち 一般財源	R4予算額
一般	スポーツ活動 振興費	教育委員会 事務局	市民スポー ツ室	新型コロナウイルス感染症拡大防止を図りながら、新しい生活様式の中で、利用者等全ての関係者が、安心安全かつ継続してスポーツ活動が可能となるよう、また、スポーツイベントが開催できるよう、指定管理者や関係協会と連携し、スポーツ活動の振興に取り組みました。	3,537	3,537	6,422
一般	市民ホッケー 場整備事業	教育委員会 事務局	市民スポー ツ室	2021年の三重とこわか国体（開催中止）後においても、「ホッケーのまち なばり」の推進を図るため、三重県からの助成を受け、関係機関と連携し、大会等を開催する中で、必要な施設整備（更衣室新設等）を行い、市民の機運向上に取り組みます。	0	0	14,696
一般	総合体育館改 修事業	教育委員会 事務局	市民スポー ツ室	避難所として感染症の疑いがある避難者の受入にも対応するため、マツヤマSSKアリーナ（名張市総合体育館）及び名張市勤労者福祉会館の一体的な活用を可能とするよう館内屋上部分の防水改修等の整備を行いました。 ・屋上防水改修、自動火災報知機改修、空調設備改修	51,568	0	0
一般	総合体育館改 修事業 <令和2年度繰 越分>	教育委員会 事務局	市民スポー ツ室	<令和2年度繰越分> ・屋上防水改修・電気設備改修	66,898	1	0
一般	名張中央公園 トイレ改修事 業<令和2年度 繰越分>	教育委員会 事務局	市民スポー ツ室	<令和2年度繰越分> 名張中央公園に点在するトイレについて、新型コロナウイルス感染症対策として、国の財源を活用し、和式便器から洋式便器への改修を行いました。	33,579	0	0
一般	三重国体運営 実施事業	教育委員会 事務局	国体推進室	三重とこわか国体に開催に向けて、市民の機運の更なる向上を図るため、炬火イベントの開催、県民運動（花鉢植え設置）や市内小中学校へののぼり旗の作製を行いました。また、名張市において、開催予定であった、正式競技（ホッケー競技・軟式野球競技・弓道競技）及びデモンストラーションスポーツ（ターゲット・バードゴルフ）の準備等を関係団体と連携し、取り組みました。あわせて、全国各地から来場予定の選手及び関係者等（学校応援・企業応援含む）に対するおもてなしをするための準備等の取組を行いました。	71,968	21,971	0